

医療保障制度（スウェーデン）

出典

International Profiles of Health Systems 2020

医療保障制度の概要

- ・ スウェーデンの医療は税方式による国営サービスが基本
 - ・ 基本的にはランスタディングが医療施設を設置、運営し、費用はランスタディング（地方自治体）の税収（主として住民所得税）及び患者一部負担によってまかなわれる仕組みとなっている。また、患者の負担額は「保険医療法」において設定された全国的な上限額を元に設定される。
 - ・ 保険医療サービスではスウェーデンの医療制度は合法的な居住者全員を対象にしなければならないと定めています。これはスウェーデンが2カ国同盟を結んでいる9カ国のすべての患者にも適用されます。
- ・ 政府の役割
 - ・ 国、地域、地方の三つのレベルすべてが医療保険に関与しています。
 - ・ 他にも8つの独立した機関が医療と公衆衛生に関与しています。

公的医療保険と民間医療保険

公的医療保険の役割

- ・総医療費はGDPの10.9%（2016年）。この支出の約84%は公的資金によるもの。地域の支出は約57%、地方自治体の支出は25%、中央政府の支出は25%である。
- ・2016年には地域の総支出の88%がヘルスケアに費やしたため、地域と地方自治体は、医療サービスをカバーするために人口に比例した所得税を課した。
- ・一般政府補助金は必要に応じて、地方自治体や地域間で資源を再配分するように設計している。

民間医療保険の役割

- ・医療費の1%未満を占めている。
- ・雇用主が加入し、主に医療を素早く受けるために加入している。
- ・2017年には、633,000人が民間保険に加入していて、16歳から64歳までの全雇用者の約13%に相当する。

公的医療保険の給付

- ・ 公的医療保険による給付内容は定義されていない。医療の組織化と資金調達の責任は地方自治体にあるため、国全体においても地方自治体によりサービスはある程度異なる。
- ・ 公的資金による医療制度の例
 - 公衆衛生および予防サービス 出産育児を含むプライマリケア
 - 入院/外来の専門医療 救急医療
 - メンタルヘルスケア
 - 理学療法を含むリハビリテーションサービス
 - 介護施設やホスピスでのケアを含む在宅ケアと介護
 - 子供と若者のための歯科治療と検眼
- ・ 耐久性のある医療機器（車椅子や補聴器）を含む障害支援サービスは公的資金によりカバーされる。
- ・ 大人の歯科治療は限定された補助金によりカバーされる。

医療費の患者負担

- 医療費全体の約16%が私的支出で、そのうち92%が自己負担
- 自己負担のほとんどは医療品と歯科治療
- 医療品や歯科治療の給付は国が決定し、すべての住民に適用される
- 子供・青少年・高齢者などの一部の対象グループは、利用料金が免除される
- 出産ケア・予防接種・がん検診などの予防サービスには、自己負担金はない

医療保障制度のまとめ

- ・ 医療保障制度の概要

基本的にはランスタイングが医療施設を設置、運営し、費用はランスタイング（地方自治体）の税収（主として住民所得税）及び患者一部負担によってまかなわれる仕組みとなっている。また、患者の負担額は「保険医療法」において設定された全国的な上限額を元に設定される。

- ・ 公的医療保険と民間医療保険

総医療費はGDPの10.9%（2016年）。この支出の約84%は公的資金によるもの。地域の支出は約57%、地方自治体の支出は25%、中央政府の支出は25%である。

- ・ 公的医療保険の給付

給付内容は定義されていない。医療の組織化と資金調達の責任は地方自治体にあるため、国全体においても地方自治体によりサービスはある程度異なる。

- ・ 医療費の患者負担

医療費全体の約16%が私的支出で、そのうち92%が自己負担

医療品や歯科治療の給付は国が決定し、すべての住民に適用される